

日本共産党がアドバイザー

2013年7月の参院選で躍進した日本共産党。「ブラック企業規制」「学費負担の軽減」などを政府に迫り、青年といっしょに声をあげ、政治を動かしています。

設け最優先で人間を粗末にあつかう資本主義を告発し、のりこえる道を科学的に明らかにしています。ほんとうの意味で自由で、人間らしく生きられる社会へ——。社会を変える展望を学び、行動する民青の頼もしい相談相手です。

なんでも相談してみよう



©カクサン部



週1回の班会議が基本

班会では、なんでも語り合う「3分間スピーチ」と、民青新聞を読んだ学習や交流を基本に、一人ひとりのやりたいことを出し合い、とりくみを相談します。

同盟費は、毎月550円(減額・免除制度あり)

先輩からの
メッセージ

困っている人の支えになりたい
—民青での学びが役立っています
自治体職員 藤田かおりさん(20代)



私が公務員をめざしたきっかけは、民青でとりくんだ街頭労働相談ボランティアでした。ホームレスとなった方から直接話を聞き、役所に同行して生活を再建するお手伝いをしました。そのなかで、困っている人によりそえる仕事、公務員をめざそうと思いました。

学生時代に「事実や実態から出発する」ことの大切さを学んだことは、いまの私の土台となっています。そんな学びができるのは民青の大きな魅力だと思います。

多くの学生の方に、民青で学んだり、いろんな体験をしてほしいです。

民青同盟中央委員会

〒161-0061 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-20-2
TEL 03-5772-5701 <http://www.dylj.or.jp/>

民青同盟富山県委員会

〒930-0003 富山市桜町 2-4-20
Email minsei.tym@gmail.com

充実した学生生活 いっしょにつくろう



被災地ボランティアに行こう!!



仮設住宅を訪問し、「網戸をつけてほしい」など要望を聞いてまわりました。要望を行政に伝えるなかで、実際に成果も、被災者の役に立てて、嬉しかったです。

今年もGWに計画中。

申し込み・お問い合わせは



みんせい 15~30歳までの青年が活動する団体です。全国の地域や職場、学校に班があり、週1回の班会をひらいて学びや交流、行動にとりくんでいます。

〒161-0061 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-20-2 TEL:03-5772-5701 <http://www.dylj.or.jp/>

活動テーマは「つながる、学ぶ、変えられる」

「科学の目」で学んでいます

貧困と格差、地球環境破壊…資本主義のしくみや問題点を明らかにし、未来への展望をさし示した理論（科学的社会主義）を学んでいます。さまざまな問題のおもとに迫る学びをする力になっています。

●マルクスに注目が

カール・マルクスの書き込み入りの『資本論』と『共産党宣言』が2013年に、ユネスコの世界遺産に。資本主義のゆくすが問われるなか、日本でも世界でも、マルクスへの注目が広がっています。



原発

このままゼロに



首相官邸前行動など、**原発ゼロの行動に参加**してきました。いま、日本で動いている原発がないのは、みんなの行動の成果だと思います。



福島の方たちの実情や不安を聞き、「こんな事故は二度とくり返してはいけない」と痛感しました。

FW

フィールドワーク

歴史の真実に目をむけて学んでいます



靖国神社や日本軍「慰安婦」問題の歴史を知り、アジアや世界の国々と友好関係をつくる方向性が見えてきて、**前向き**になりました。



韓国フィールドワークで、元「慰安婦」の方に話を聞き、マスコミやネットの情報に流されず、**自分の目で見ることや体験することの大事さ**を実感しました。

進路

“働くこと” “生きること”を見つめて



地元のブラックバイトや就活の実態調査をまとめて、社会にアピールしてきました。国が対策にのりだしたときは、思い切って声をあげてよかったと思いました。

厚労省がブラック企業調査

- ・違法な時間外労働 43.8%
- ・賃金不払い残業 23.9%
- ・賃金など明示せず 19.4%

(ブラック企業の疑いのある5111事業所への立ち入り調査から)



社会人OBをまねいた「就活カフェ」では、不安にこたえてもらったり、「お金だけでなく、**どんな生き方がしたいかも大事**」とのアドバイスをもらい、とても参考になりました。

憲法

“戦争する国”は許さない “自由をまもれ”とカクサン!



世界では軍事同盟が次々になくなっていることを学び、憲法9条は先進的だと思いました。



フェイスブックでよびかけられ、**秘密保護法に反対する学生デモ**に参加しました。新入生といっしょにデモしたいと計画中です。

学費

お金の負担が少なく学べるように



税金の使い方を変えれば、学費を安くできると知り、**視野が広がりました**。実態調査や学費負担の軽減をもとめる署名にとりくみ、やりがいを感じています。

世界は学費ゼロ

私立130万円
国立80万 日本
アメリカ58万
フランス2.4万
フィンランド0



就職のために、いい成績や資格をとることで頭がいっぱいだったけど、みんせいで「**なぜ学ぶのか**」を交流するなかで、大学での学びを社会に還元することが大事だわかり、学ぶことが楽しくなりました。